

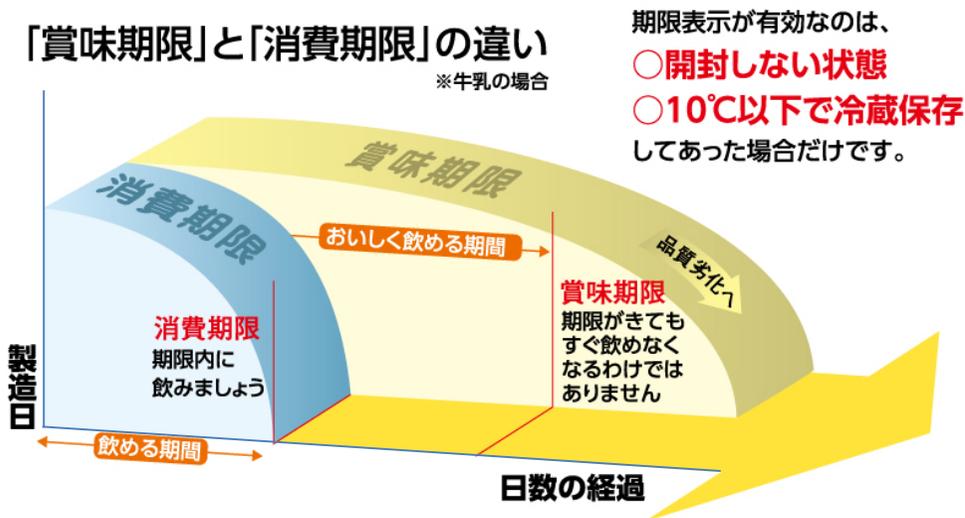
# 期限表示を知って、賢くおいしく牛乳を飲みきる

購入時に、期限表示の意味を正しく理解し、賢くおいしい状態で牛乳を飲みきることを提案。

## □ 牛乳の期限表示には、賞味期限が表示されているものと消費期限が表示されているものがある。

賞味期限や消費期限は、法律で一律に決められた設定基準はなく、メーカーがそれぞれの基準に沿った保存テストをし、決めるものである。メーカーが決めた保存方法(主に保存温度)を守って、初めて意味がある。

いずれの期限表示も、開封後、期限が無効となり、保存状態によって何日もつかは異なるので、冷蔵庫に保存し早めに飲んでください。



- **賞味期限(一般的な牛乳や長期保存できる牛乳の場合)**  
未開封のまま、表示された保存方法で保存した場合に、品質の保持が十分に可能であると認められる期限のこと。品質とおいしさの目安なので、期限を一日でも過ぎたらすぐに飲めなくなるわけではない。
- **消費期限(低温殺菌牛乳の場合)**  
品質劣化が早いので、未開封で冷蔵庫保存した場合でも、その日までに飲みきる必要がある。

## 飲めるかどうかを確認する方法

- ◎目で見ると ⇒ 分離したりブツブツができています
- ◎臭いをかぐ ⇒ ふだんと違う臭いがする
- ◎味見すると ⇒ 酸味や苦みがある
- ◎沸騰させる ⇒ 豆腐のように固まったり分離してくる

これらの状態が確認できたら、飲まずに処分！